

令和6年度 第2回 湖東中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年6月21日（金） 13時30分から15時20分まで
（14：30～15：20は部活動激励会を参観）
- 2 開催場所 湖東中学校 2階 会議室
- 3 出席委員 中村 規子、古谷 幸美、桔川 増雄、古橋 豊、野嶋 清嗣、寺田 佐千代、
村上 久美子、島野 知厚、古橋 雅孝
- 4 欠席委員 中村 勝信
- 5 学 校 水野 貫一（校長）、瀧下 早苗（教頭）、伊藤 康恵（CSディレクター）
- 6 教育委員会 なし
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 伊藤 康恵

9 議長の選出

議長の選出について、前会議内で桔川会長から寺田委員を推挙する旨の発言があり、決定していたことから全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）1年生地域ふれあい講座・2年生職場体験について
- （2）部活動地域移行について

11 会議記録

司会の瀧下教頭から、委員総数 10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）1年生地域ふれあい講座・2年生職場体験について

議長の指示により、瀧下教頭から、別紙資料に基づき1年生地域ふれあい講座・2年生職場体験についての説明があった。

あわせ、学校支援コーディネーターの村上委員から、他委員へ1年生地域ふれあい講座の講師紹介、2年生職場体験の職場体験先紹介のお願いがあった。

委員からは、以下の発言があった。

- ・ 講師が多いほど生徒達と密にコミュニケーションがとれる。
面識のない大人との対話力は、受験の面接等の場で活かされる。(村上委員)
- ・ ふれあい講座の定義とは？(桔川委員)
→子供たちが活動や体験を通して地域の方とコミュニケーションをとる・地域の方に生徒や学校について知ってもらうということ。(村上委員)
- ・ 和地地区コミュニティにつなげるのも良いと思う。(桔川委員)

意見交換を行い、講師や体験先について検討していくこととした。

(2) 部活動地域移行について

議長の指示により、水野校長から、別資料に基づき部活動地域移行についての説明があった。

委員からは、以下の発言があった。

- ・ Aグループ
指導においては地域指導者が学校指導者に合わせていく必要があると思うが、クラブの魅力も必要なので、部活動とは違う指導にも対応できるよう、説明や互いにコミュニケーションをとることが大切。
先生の「兼職・兼業」が必要になると思うので、手当等の待遇面を整えるべき。
また、楽器等の学校備品を自由に使用できる制度も整えていかなければならない。
- ・ Bグループ
地域指導者と学校指導者の方針に違いが出た場合、地域指導者はどこまで関わって良いのか悩むと思う。
外部から人を入れることになるので、地域指導者は、態度や生徒との関りにおいて人格の優れた人が望ましい。
- ・ Cグループ
地域指導者と学校指導者の意見が違っていると生徒が迷う為、予め目標や指導について話し合っておく必要がある。

意見交換が行われ、全員これを確認した。

12 その他報告事項

- ・ 次回の議長は、島野委員が努めることを全員異議なく承認した。
- ・ 村上委員から「学校支援コーディネーター研修会」についての報告があった。
学校運営協議会・学校支援コーディネーターの役割を再確認し、学校と地域が一緒に子供を育てていくために、今後も委員の皆が意見を言い合える会議で対話を重ねていく呼びかけが行われた。
- ・ 瀧下教頭から次回開催についての案内があった。